

CS-62B

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS-62B 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術サポート部

TEL :03-5323-7178

MAIL :support@atenjapan.jp

2008 年 8 月 8 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニタ、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応となりますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 納品日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障または破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証のお申し込み手順】

弊社の製品保証規定に従い保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

- (1) **不具合の確認**……製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口へ連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。
- (2) **本規定に基づく製品保証のご依頼**……(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『製品納品日が証明できる書類』を用意して、製品を購入された販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。
- (3) **製品の発送**……不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品／液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～3 年	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～1 ヶ月	初期不良、新品交換※1
	～2 年	無償修理
	2 年以上	有償修理※2

※1…製品納品日から30 日以内に弊社または販売店に申告を頂いた不具合を初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途お問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプタ、その他レールキット等のアクセサリ類はDOA・初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL(生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された場合に適用されます。それ以前に購入された製品については、1年間の保証となります。

【補足】

- ・ 本規定はATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ ケーブル類・電源アダプタは初期不良対応に準じます。
- ・ 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。
- ・ 製品保証を受けるにあたり、製品の納品日が証明できない場合は製品のシリアルナンバーから判別した製造日を起算日とします。ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、全て有償修理とさせていただきます。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業推進部 TEL:03-5323-7170 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部 TEL :03-5323-7178 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

FCC	7
RoHS	7
同梱品	8
マニュアル表記について	9
製品概要	10
特長	11
動作環境	12
コンソール	12
コンピュータ	12
ケーブル	12
製品各部名称	13
セットアップ	14
接続図	15
操作方法	16
代替ホットキーの選択	16
アクティブポートの選択	16
オートスキャンモード	17
スキャンインターバルの変更	17
KVM とオーディオの個別切替	18
LED 表示内容一覧	18
製品仕様	19
トラブルシューティング	20

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

同梱品

CS-62B 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS-62B ケーブル一体型 2 ポート KVM スイッチ ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

製品概要

CS-62B KVM スイッチは 1 組のコンソール(キーボード、モニタ、マウス)から 2 台のコンピュータにアクセスできるコントロールユニットです。CS-62B の開発以前は、シングルコンソールから複数のコンピュータの設定を行うには複雑でコストのかかるネットワークシステムを使用せざるを得ませんでしたが、CS-62B KVM スイッチが開発された現在では、費用対効果の高い方法で 2 台のコンピュータに簡単にアクセスすることが可能となりました。

CS-62B は前モデルに改良を加え、設置面積を前モデルの半分のサイズにコンパクト化し、専用 KVM ケーブル一体型のデザインを採用しておりますので、わずかな作業スペースでも簡単な作業でスムーズに導入いただけます。

また、オーディオ機能のニーズもお応えし、CS-62B はマイクとスピーカーもお使いいただくことができます。1 つのマイクから入力されたデータを CS-62B に接続されたコンピュータに転送することも可能ですし、また、コンピュータから出力される音声も 1 組のスピーカーでお楽しみいただけます。(ただし、マイク、スピーカーともに、1 度に入出力できるのは 1 台のコンピュータに限ります)

セットアップに必要な作業は、ケーブルを適切なポートに接続することだけですので、簡単で手間もかかりません。製品に接続されたコンピュータには、キーボードからホットキーを入力するだけで簡単に切り替えることができます。

CS-62B は使用する前にセットアップするソフトウェアも、定期的なメンテナンス作業も不要です。また、本製品はキーボード入力を直接受け取りますので、マルチプラットフォームの環境でもお使いいただけます。

作業時間とコストの削減に関して、CS-62B の他に右に出る製品はありません。CS-62B は 1 組のコンソールから 2 台のコンピュータを操作することが可能ですので、本製品を導入いただければコンピュータ毎にキーボード、モニタ、マイクをそれぞれ買い揃える必要がなくなります。また、これによって、余分なデバイスが専有するスペースも縮小することができ、コンピュータを操作するたびに移動する手間も省くことができます。

特長

- ◆ 1組のコンソールで2台のコンピュータを操作することが可能
- ◆ オーディオ機能(マイク、スピーカー)対応
- ◆ KVM/オーディオケーブル一体型のコンパクトなデザイン
- ◆ KVMとオーディオの個別切替—1台のコンピュータを表示しながら、もう1台のコンピュータから音声を出力することが可能
- ◆ ソフトウェアインストールが不要な簡単セットアップ—必要な作業はケーブルの接続のみ
- ◆ ホットキー操作による簡単切替
- ◆ オートスキャン機能—2台のコンピュータを一定の時間間隔で自動切替
- ◆ ホットプラグ対応—スイッチの電源を切ることなくコンピュータの付け外しが可能
- ◆ LED表示でコンピュータの状態が一目瞭然
- ◆ キーボード、マウスのエミュレーション機能により、これらのデバイスが未接続でもブートエラーを回避することが可能
- ◆ Microsoft IntelliMouse および大半のスクロールマウスに対応
- ◆ 切替時に Caps Lock、Num Lock、Scroll Lock 各キーの状態を保持
- ◆ ビデオ解像度—最大 2,048×1,536 に対応。DDC2B 準拠。
- ◆ バスパワーにより外部電源不要

動作環境

コンソール

- ◆ お使いのコンピュータのうち、高いほうの解像度に設定されたものが表示できる VGA、SVGA またはマルチシンクモニタ
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ スピーカー、マイク(オプション)

コンピュータ

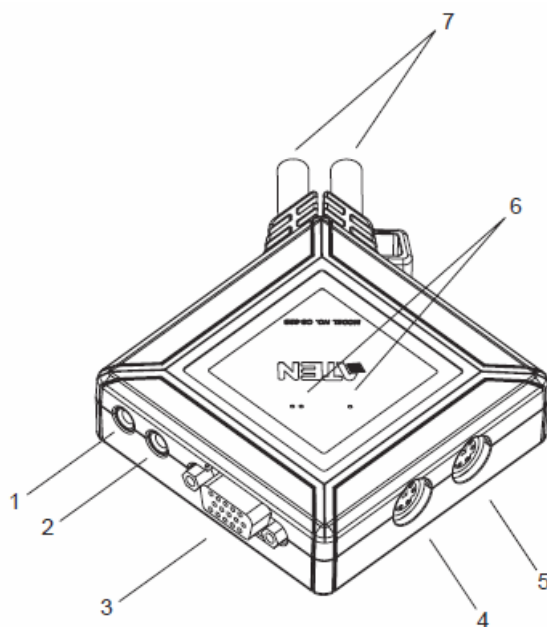
本製品に接続してお使いになるコンピュータは、以下の要件を満たしていなければなりません。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ 6ピン ミニ DIN (PS/2) マウスポート
- ◆ 6ピン ミニ DIN (PS/2) キーボードポート
- ◆ スピーカー、マイクの各ポート(オプション)

ケーブル

最適な信号品位やレイアウトの簡素化を実現するために、CS-62B は、2 本の高品質 ATEN KVM ケーブルを一体化した設計になっておりますので、別途ケーブルをご購入いただく必要はございません。

製品各部名称



No.	部品
1	マイクフォンジャック
2	スピーカージャック
3	モニタポート
4	マウスポート
5	キーボードポート
6	ポートLED ◆ ポートに接続されているコンピュータに電源が入っている場合、対応するLEDがグリーンに点灯します。 ◆ ポートに接続されているコンピュータがオートスキャンモードでアクセスされている場合、このLEDは点滅します。(p.17 参照)
7	KVM ケーブル

セットアップ



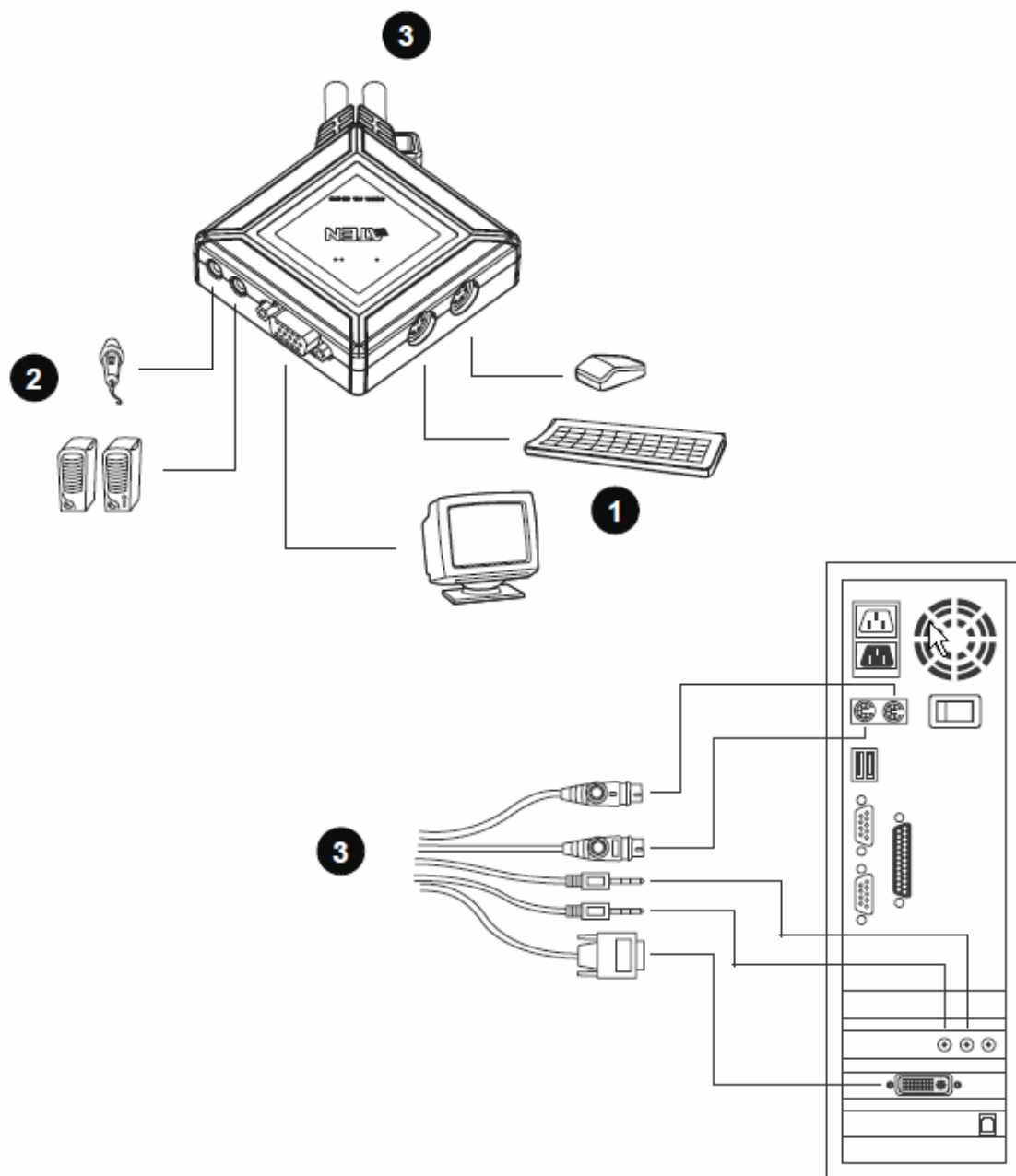
1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. お使いのコンピュータへのダメージを避けるために、すべてのデバイスが適切に接地されていることをご確認ください。

次のページの接続図を参考にしながら、以下の手順でセットアップを行ってください。

1. お使いのキーボード、モニタ、マウスの各コネクタを CS-62B の該当ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
2. (オプション) お使いのマイクおよびスピーカーの各コネクタを CS-62B のマイクおよびスピーカージャックにそれぞれ接続してください。ジャックにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
3. CS-62B の KVM/オーディオケーブルのキーボード、モニタ、マウス、マイク、スピーカーの各コネクタをコンピュータの該当ポートに接続してください。
4. CS-62B に接続したコンピュータに電源を入れてください。

注意: デフォルトでは、CS-62B は最初に電源が入ったコンピュータにリンクします。

接続図



操作方法

シングルコンソールから2台のコンピュータにアクセスするのは、一見難しく思われるかもしれませんが、CS-62B ではホットキーを利用してコンピュータを切り替えることができますので簡単に操作することが可能です。ホットキーとして割り当てられているキーの組み合わせを順に入力することで各操作を実行します。本製品ではホットキーを使って以下の操作を行うことができます。

- ◆ 代替ホットキーの選択
- ◆ アクティブポートの選択
- ◆ オートスキャンモードの起動
- ◆ オートスキャンのインターバル時間の設定
- ◆ KVM およびオーディオの個別切替

代替ホットキーの選択

デフォルトホットキーは[Scroll Lock][Scroll Lock]、代替ホットキーは[Ctrl][Ctrl]に設定されています。代替ホットキーを使用する場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock][Scroll Lock][x][Enter]

-
- 注意:**
1. 本マニュアルでは、便宜上、キー名の前後にブラケット([])を使用しているだけですので、実際に入力される際にはこのブラケットは不要です。例えば、[Enter]は **Enter** キーを押すことを表しています。
 2. キーは1度に1つずつ押してください。
 3. アルファベットキーは大文字と小文字を区別しませんので、どちらで入力していただいてもかまいません。
-

アクティブポートの選択

操作したいコンピュータを切り替える場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock][Scroll Lock][Enter]

オートスキャンモード

オートスキャン機能を使用すると、コンピュータの表示を一定の時間間隔で自動的に切り替えますので、手動で切替操作を行うことなく両方のコンピュータをモニタリングすることが可能です。デフォルトのスキャンインターバルは 5 秒です。オートスキャンモードを起動する場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [a] [Enter]

スキャンが開始すると、ユーザーがスペースキーまたは[Esc]キーを押すまでスキャンを続けます。これらのキーが押されてオートスキャンモードが終了すると、終了した時点で表示されていたコンピュータが選択された状態になります。

注意: オートスキャンモードが有効になっている場合、通常のキーボードおよびマウスの機能は一時的に中断されます。

スキャンインターバルの変更

オートスキャンモードで各ポートを表示する時間の設定は変更することができます。この時間を変更する場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [a] [n] [Enter]

n の部分には 1~4 までの数字を入力します。各数字が表す設定内容については以下の表をご参照ください。

n	スキャンインターバル
[1]	3 秒
[2]	5 秒
[3]	10 秒
[4]	20 秒

KVM とオーディオの個別切替

KVM のみを切り替える場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [k] [Enter]

オーディオのみを切り替える場合は、以下のホットキーを入力してください。

[Scroll Lock] [Scroll Lock] [s] [Enter]

LED 表示内容一覧

動作	説明
OFF	ポートが選択されていません。
ON	ポートがアクティブなコンピュータに接続されています。
点滅	ポートがオートスキャンモードでアクセスされているアクティブなコンピュータに接続されています。

製品仕様

機能		CS-62B
コンピュータ接続数		2
コンソール接続数		1
コンピュータ側対応インターフェース	キーボード	PS/2
	マウス	
コンソール側対応インターフェース	キーボード	PS/2
	マウス	
ポート選択方法		ホットキー
コンピュータ側コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンオス×2
	マウス	ミニ DIN6 ピンオス×2
	モニタ	D-sub15 ピンオス×2
	スピーカー	ミニオーディオプラグ×2
	マイク	ミニオーディオプラグ×2
コンソール側コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1
	モニタ	D-sub15 ピンメス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1
	マイク	ミニオーディオジャック×1
LED	ポート選択	グリーン×2
キーボード/マウスエミュレーション		PS/2
スキャンインターバル		3、5、10、20秒(ユーザー設定)/5秒 (デフォルト)
電源仕様		PS/2 バスパワー
VGA 解像度		最大 2,048×1,536 DDC2B 準拠
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20℃～60℃
	湿度	0～80%RH 結露なきこと
ケース材料		プラスチック
重量		400g
サイズ(W×D×H)		74.4×74.4×23.2mm
同梱品		ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
マウスあるいはキーボードが反応しない。 ¹	ケーブルがしっかりと接続されていない可能性があります。	すべてのキーボードのケーブルがポートにしっかりと接続されているかご確認ください。
	キーボードのリセットが必要です。	コンソールキーボードポートからキーボードのコネクタを一旦抜いて、挿しなおしてください。
	スイッチのリセットが必要です。	まず、製品に接続されているすべてのコンピュータの電源を切って、KVM ケーブルを外してください。5 秒ほど経過した後、ケーブルをつなぎ直して、コンピュータに電源を入れてください。
	オートスキャンモードが起動中である可能性があります。	スペースキー または [Esc] キーを入力して、オートスキャンモードを終了してください。
ホットキーを押しても反応がない。 ²	現在選択されているポートに接続されているコンピュータに電源が入っていない可能性があります。	製品に接続されているコンピュータで電源が入っているものに対して同様にホットキーを入力してみてください。
	ホットキーを入力する順序が間違っているのかもしれません。	製品マニュアルの内容をもう一度よくご確認の上、ホットキーを入力しなおしてください。キーは1度に1つつ入力し、次のキーを入力する際に、前に入力したキーを押しっぱなしにしないでください。
	オートスキャンモードが起動中である可能性があります。	スペースキー または [Esc] キーを入力して、オートスキャンモードを終了してください。

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
マウスがコンピュータ上で認識されない。または、マウス入力に対して正しく反応しない。 ²	ケーブルがしっかりと接続されていない可能性があります。	すべてのキーボードのケーブルがポートにしっかりと接続されているかご確認ください。
	マウスポートアダプタが使用されている可能性があります。	本製品は PS/2 マウスおよび PS/2 ポートを搭載したコンピュータの組み合わせで使用されることを前提に設計されており、シリアルマウスポートにアダプタを接続した使用方法には対応しておりませんので、ご了承ください。
	マウスのリセットが必要です。	コンソールマウスポートからマウスのコネクタを一旦抜いて、挿しなおしてください。
	スイッチのリセットが必要です。	まず、製品に接続されているすべてのコンピュータの電源を切って、KVM ケーブルを外してください。5 秒ほど経過した後、ケーブルをつなぎ直して、コンピュータに電源を入れてください。
	マウスがシリアルモードに設定されている可能性があります。	一部のマウスは、設定によって PS/2 マウスまたはシリアルマウスとして使用できます。この場合、マウス側の設定を PS/2 に変更してください。
	マウスドライバが正しくない可能性があります。	Windows をお使いの場合、デバイスマネージャーで、お使いのマウスに適したドライバ(マウスのベンダまたは OS から提供されたもの)が適用されていることを確認してください。

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
ビデオ表示に問題がある。	解像度または帯域幅の設定が高すぎる可能性があります。	解像度または帯域幅を下げてください。

¹ CS-62B は PS/2 キーボードに対応しております。

² 一部のノートパソコン(例:IBM Thinkpad、TOSHIBA Tecra)では、マウス、キーボードの各ポートが同時に使用されると問題が起こる場合があります。この問題を回避するには、マウスポートまたはキーボードポートの片方のみを使用しなければなりません。マウスポートを使用した場合、CS-62B によってそのノートパソコンが選択されたら、コンソールポートに接続されたキーボードではなく、そのノートパソコンに搭載されているキーボードを使用する必要があります。